

関西医科大学附属病院に 患者さん案内サイネージロボットを導入

【本件のポイント】

- 最新技術搭載により病院内の安全走行を実現
- ロボット前面大型サイネージに患者さんへの案内を表示
- ソフトバンクロボティクス株式会社販売の最新モデル

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・木梨達雄）は、2026 年 7 月 10 日から、附属病院にソフトバンクロボティクス株式会社が販売する「配膳・運搬ロボット T11」を施設内における患者案内用移動サイネージとして導入しました。新たに導入される“2 人”のロボットは、建学の精神「慈仁心鏡」にちなみ、それぞれ「めぐみちゃん」「こころくん」と命名されました。今後は附属病院 1 階および 2 階において来院患者さんの案内業務などに従事する予定です。

導入された T11 は、ソフトバンクロボティクス株式会社が 2 月に販売を開始したもので、当該モデルとしては初の導入事例となります。5 つの立体ビジョンセンサーを備えているほか、マルチモーダル 3D ビジョン検出とミリ秒レベルの動作判断アルゴリズムを組み合わせることで、混雑した環境に対応し、障害物を柔軟に回避することができ、人とロボットが共存する環境に配慮した設計となっています。多くの患者さんやご家族の方が来院される病院内において、安心・安全な走行が可能です。ロボットの前面には動画などを表示できるサイネージを備えており、病院受診に際して患者さんに役立つ各種情報をお届けする予定です。

関西医科大学はスマートホスピタル化を推進しており、今回のロボットの導入も、その革新的な取り組みの一環となります。今後も本学は、時代の一步先を見据えたスマートホスピタルの実現に向け、すべての患者さんにとって便利で受診しやすい病院づくりに取り組んでまいります。



T11

サイズ	383 × 464 × 1118 mm
トレイ寸法	380 x 340 mm
最小通過幅	49cm
サイネージ	18.5 インチ
位置補正	VSLAM
障害物検知	RGBD カメラ X 5 (270°)

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（清水・佐脇）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@kmu.ac.jp